

紺碧

こ ん

へ き

春

SPRING
2026 vol.17



埼玉石心会病院 外科副部長 | 落合 亮二

埼玉石心会病院 外科部長 | 相馬 大介

胃がん・大腸がん治療に ロボット支援手術、始動

特集

紺碧

2026年春号

編集・発行：社会医療法人財団 石心会 TEL 044-381-3366 (代) 〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進町ビルディング3階 発行責任者：杉山孝博

優しくて頼りになる医療・福祉を目指します。

石心会グループ 埼玉地区

社会医療法人財団 石心会
埼玉石心会病院

〒350-1305 狭山市入間川2-37-20
TEL 04-2953-6611 (代表)
<https://saitama-sekishinkai.jp/>



社会医療法人財団 石心会
さやま総合クリニック

〒350-1305 狭山市入間川4-15-25
TEL 04-2953-9995 (外来予約センター)
〈月～金〉8:00～18:00 〈土〉8:00～17:00
〈日・祝日〉8:30～17:00
<https://sekishinkai-sayama-cl.jp/>
TEL 04-2900-2223 (健診予約)
〈月～金〉8:30～18:00
〈土〉8:30～12:30 〈日・祝日〉休
<https://www.sayama-doc.jp/>



社会医療法人財団 石心会
さやま腎クリニック

〒350-1305 狭山市入間川4-15-20
TEL 04-2900-3333
〈月～土〉8:30～17:00
<https://sekishinkai-sayama-jin.jp/>



社会医療法人財団 石心会
いきいき訪問看護ステーション鶴ノ木

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2955-2060
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/ikiiki.php>

社会医療法人財団 石心会
狭山市入間川・入間川東地域包括支援センター

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2955-1114
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/irumagawa.php>

社会医療法人財団 石心会
石心会介護支援センター

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2953-6777
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/sekishinkai.php>

社会医療法人財団 石心会
石心会ヘルプーステーション

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2900-1302
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/helperstation.php>

医療法人社団 東京石心会
さやま地域ケアクリニック

〒350-1323 狭山市鶴ノ木1-33 TEL 04-2955-5000
<https://sayama-care.jp/>

社会福祉法人 石心福祉会
特別養護老人ホームオリーブ

〒350-1313 狭山市大字上赤坂290-1 TEL 04-2950-2400
<https://sayama-olive.jp/>



Cover Photo Story

埼玉石心会病院
外科



受診の際は、
マイナンバーカードを。

※本誌のマイナンバーカードを掲載した記事は、
掲載するにあたり、掲載先が本人の同意を得た上で掲載しているため、
掲載もその旨に準じて掲載を行います。

厚生労働省



紺碧は、埼玉の広大な大地の上に広がる濃紺の空をイメージしています。地域の皆さんへ医療・福祉に関する情報を幅広く、深くお伝えしていきたいと思っております。

社会医療法人財団
石心会

*出典：地域がん登録によるがん生存率データ（1993年～2011年診断例）（5年生存率）

胃がん 大腸がん 治療に ロボット支援手術、始動

埼玉石心会病院では、2025年6月に手術支援ロボット「ダビンチXi」を導入し、7月から「大腸がん（結腸がん・直腸がん）」、「10月より「胃がん」に対するロボット支援手術を開始しました。この二つのがんは、男性の主な部位別がん死亡数（2024年）において「肺がん」に続いて、2番目、3番目の多さを占めています。

本号では、埼玉石心会病院 外科部長 包括的がん診療センター長・相馬大介医師に「胃がん」について、外科副部長・落合亮一医師に「大腸がん」について、病気の概要、治療、予防法などを伺いました。

胃がん

原因とリスク

「胃がん」は、胃の内壁を覆う粘膜の細胞ががん化し、無秩序に増殖する病気です。

主に胃の粘膜から発生し、早期胃がん（がんが粘膜下層までに留

まる）と、進行胃がん（固有筋層より深く浸潤する）に分類されます。

原因の多くはピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ菌）の感染で、長期的な胃炎や萎縮性胃炎を引き起こし、がんの発生リスクを高める

と考えられています。その他のリスク要因として、喫煙、塩分過多の食事、過度な飲酒、運動不足、加齢などが挙げられます。

早期発見が鍵

初期症状はほとんどなく、進行すると腹痛、食欲不振、吐血、黒色便などが現れます。日本では男性に比較的多いがんですが、早期発見の場合は治療率が高く、5年生存率はステージIで90%以上です。

早期発見のためには、検診を受けることが重要です。特に胃カメラ（胃内視鏡検査）は粘膜を直接観察でき、早期がんの発見率がバリウム検査（胃部X線検査）の2〜3倍高いといわれています。また、気になる部位があれば組織をその場で採取（生検）し、確定診断も可能ですのでお勧めです。

50歳以上の方は2年に1回受診することを推奨します。

「胃がん」に対する ロボット支援手術

2025年10月より「胃がん」に対して「ダビンチXi」を使ったロボット支援手術を開始しました。「ダビンチXi」の一般的なメリットは、3D高解像度画像による精密操作、手振れ補正と多関節アームによる細やかな動きが可能で、合併症リスクの低減などが挙げられます。

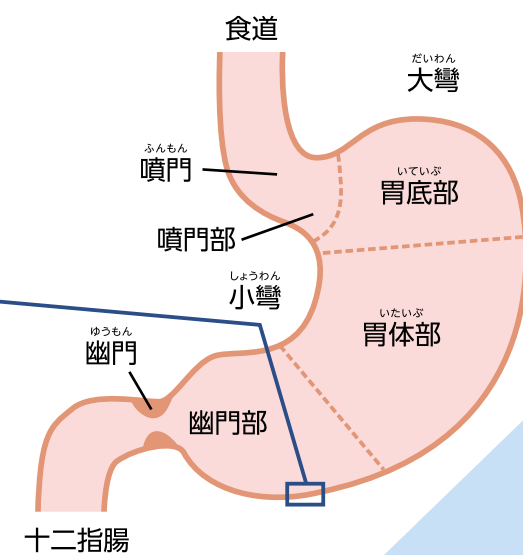
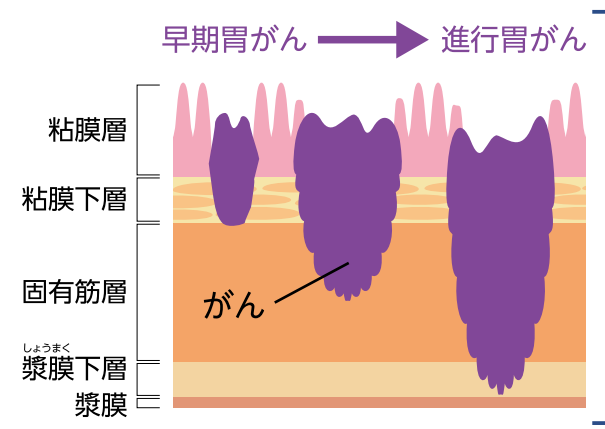
患者さんには低侵襲（小さな傷で出血量が少なく、身体への負担が小さい）で、術後在院日数が短く、痛みが少ない手術といえます。

「胃がん」に対しては、膵臓上部のリンパ節切除が安全に行え、膵臓損傷や膵液瘻などの合併症を減少させる効果があります。また、体腔内吻合（胃と腸のつなぎ合わせ）も正確に行え、再発リスクが低くなります。

従来の腹腔鏡手術より操作性が高く、進行がんの一部でも適用可能です。

当院・外科では開腹手術、腹腔鏡手術を含め、病気の状態等に合わせた方法や組み合わせで手術を実施してまいります。

● 胃がんの広がり方



埼玉石心会病院
外科部長
包括的がん診療
センター長
相馬 大介
da Vinci Console Surgeon Certificate 取得
マンモグラフィ読影認定医
臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了
医学博士（東京大学）

da Vinci Xi



大腸がん（結腸がん・直腸がん）

発症要因と自覚症状

「大腸がん」は、結腸や直腸といった大腸にできる悪性腫瘍のことです。日本では患者数が増えており、男女ともに身近ながんの一つといえます。

発症には、加齢や食生活、運動不足、喫煙、飲酒、家族歴などが関係するといわれています。

早期では自覚症状がほとんどなく、進行すると血便、便通の変化、腹痛、貧血などがみられることがありますが、症状だけでは判断は難しいため、定期的な検診が重要です。

検査と予防

簡便で効果があるとされるのは便潜血検査です。結果が陽性の場合は、大腸カメラ（大腸内視鏡検査）などの精密検査を必ず受けましょう。

「大腸がん」は早期発見が重要です。40歳以上の方は年1回の検査をお勧めします。

予防には野菜、果物、オートミールなど食物繊維が多い食品を積極的に摂って腸内環境を整え、リスクといわれている赤身肉やハムなどの加工肉を控えることが効果的とされています。

また、適度な運動をして肥満を予防すること、アルコールも量を減らすことでリスクを下げることに繋がると考えられています。

「大腸がん」に対するロボット支援手術

当科では年間160件前後の「大腸がん手術」を行っており、近年は腹腔鏡による低侵襲手術がほぼ9割です。

「ダビンチXi」導入後は、外科手術の対象となるすべての「大腸がん」の患者さんがロボット支援

手術の対象ですが、「腹部大動脈瘤」の患者さんは、ロボットの鉗子が当たると破裂するリスクがあり対象外としています。

また、「直腸がん」の手術は頭を低くして行うため、緑内障の患者さんは眼圧が上昇して、視力障害が進行するリスクが指摘されています。対象となる患者さんには、術前に眼科医のチェックを受けていただき、頭低位も必要最小限にするなど工夫を行っています。

患者さんのメリット

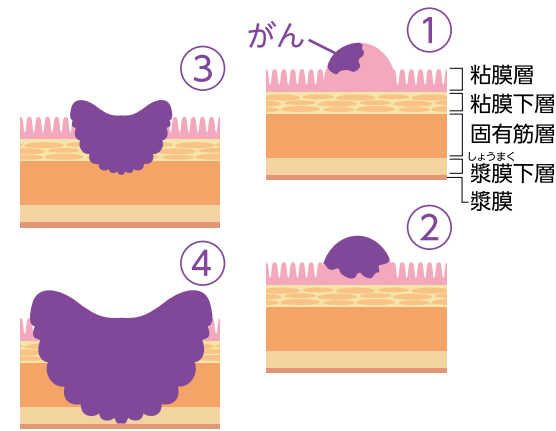
腹腔鏡手術と比べ、「直腸がん」を切除した後に起こる合併症「自

律神経障害（排尿障害や性機能障害）や他の合併症が少なくなり、開腹移行率も低下し、入院期間も短くなるといわれています。

最新の「大腸がん」治療ガイドライン^{*1}では、ロボット支援手術の実施が推奨されており、もはや標準治療のひとつになっています。ただ、生存率などの長期的な予後は今のところ、ロボット支援手術も腹腔鏡手術も大きくは変わらないといわれていますが、「ダビンチXi」の導入で、より低侵襲で質の高い治療が可能になり、患者さんに貢献できると確信しています。

*1 出典：大腸癌治療ガイドライン医師用2024年版

大腸がんの広がり方



埼玉石心会病院
外科副部長
おちあい りょうじ
落合 亮二

日本外科学会認定専門医
日本消化器外科学会認定専門医
日本消化器外科学会認定消化器がん外科治療認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医（大腸）
日本内視鏡外科学会
ロボット支援手術プロクター（大腸）
da Vinci Console Surgeon Certificate 取得
臨床研修指導医



地域のみなさんへ

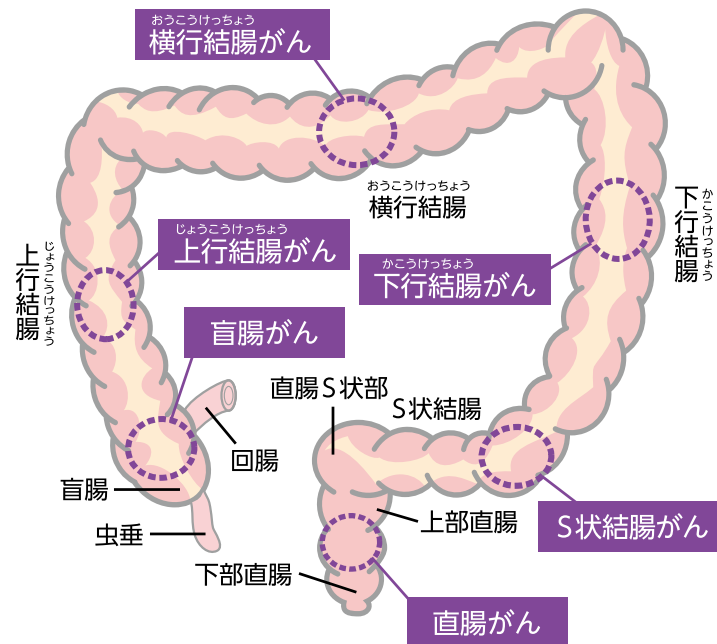
がん検診から治療が始まります

2023年の狭山市の「がん検診受診率^{*2}」は、「胃がん：10.5%（埼玉県6.9%）」、「大腸がん：5.9%（埼玉県6.6%）」と約90%の方が検診を受けていない状況です。

「がん検診」は早期発見につながる効果的な方法です。まずは「がん検診」でご自身の状態を知り、予防に努めることから始めていただくと幸いです。

埼玉石心会病院では、「包括的がん診療センター」も稼働を開始し、医師の他、「がん」を専門とする看護師、薬剤師など多職種が「包括的」に診療・治療にあたっています。

私たち医療者が治療だけでなく、より多くの地域のみなさんに「がん検診」を受けてもらえるよう働きかけることはとても重要な責任だと思います。これからもさまざまな機会に啓蒙活動を行ってまいります。



*2 出典：令和5年度 市町村別がん検診受診率順位（国民健康保険被保険者）



埼玉西協同病院



院長 関口 由希公先生

埼玉西協同病院は所沢市の東部にある99床の病院です。埼玉石心会病院には当院の患者さまを専門の科や救急で紹介したり、埼玉石心会病院から急性期～慢性期まで紹介入院を受けたりと幅広く連携をさせていただいております。

当院は安心して地域に住み続けることを支える病院として、総合内科を中心に、眼科、整形外科、皮膚科、外科、歯科、口腔外科の診療を担っております。特に病院内に歯科があるので、入院患者さま全員のお口の中を確認しておいしく食べられることを支援しています。また2名の言語聴覚士がいるので、飲み込みに不安を感じている方にも評価とアドバイスをしています。

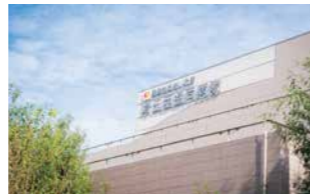
埼玉西協同病院は2026年5月に前身の富岡診療所開設から75周年、中富に移転して25周年を迎えます。地域の皆さまには大変お世話になりありがとうございます。これからも地域に寄り添う拠点病院として皆さまの健康と生活を支えていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

診療科目

内科、外科、眼科、整形外科、皮膚科、訪問診療、健康診断・人間ドック、歯科

住所 〒359-0002 埼玉県所沢市中富 1865

電話 0570-010-323



受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 8:00~11:30	○	○	○	○	○	○	○	—
午後 13:00~16:00	○	○	○	○	—	—	—	—
夜間 17:00~19:30	○	○	▲	▲	▲	—	—	—

診察開始 8:30~ / 14:00~ / 18:00~
夜間▲:水・木・金は急患のみ
各診療科の診療日(曜日)は、当院ホームページをご覧ください。



https://nishikyoudou.mcp-saitamawest.jp/

三つ葉在宅クリニック



院長 福元 剛先生

2025年8月、入間市豊岡にて訪問診療を中心としたクリニックを開院いたしました。消化器外科専門医、腫瘍内科専門医として多くの診療に携わった経験を生かし、地域の皆様が安心して医療を受けられる環境を提供したいと考え、レントゲン、超音波、心電図、血液ガス分析装置などの検査機器を備え、24時間体制で対応しております。特に、がんの治療を終え、残された時間をご自宅で過ごしたいという患者様の想いを叶えられるよう万全の体制を整えています。また、さまざまな理由で通院が困難になった方に対し、ご自宅で医療を受けていただける訪問診療を提供しています。

私たちの経営理念は、地域に「安心」を提供することです。患者様やご家族、共に働くスタッフ、そして地域に暮らす皆様が安心して生活できるよう医療体制を整え、「今日、お家に帰りたい」という患者様の想いを大切に、可能な限り迅速に対応することを心がけています。ぜひお気軽にご相談ください。

診療科目

訪問診療

住所 〒358-0003 埼玉県入間市豊岡 1 丁目 8-30 リーナファーム 1 階・2 階

電話 04-2936-7735



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~17:30	○	○	○	○	○	—	—	●

祝祭日●:12:30まで
土曜・日曜は緊急対応のみ
外来は要予約



https://www.mitsuba-zaitaku.com/

さやま総合クリニック健診センター

オプション検査のご紹介

さやま総合クリニック健診センターでは、異常を発見するひとつの判断材料となる血液検査オプション(腫瘍マーカー)を多数ご用意しています。当健診センターの人間ドックは、自由にオプション検査を組み合わせることができます。この機会に気になる検査項目を追加してはいかがでしょうか。

人間ドックの血液検査オプション[腫瘍マーカー]

ABC 検診 (胃がんリスク検査) 5,500円	CEA (癌胎児性抗原) 1,760円	CA19-9 (糖鎖抗原 19-9) 1,760円
胃がんの主な原因と考えられているヘリコバクター・ピロリ菌の感染の有無を調べる抗体価検査と、胃粘膜の萎縮の程度を調べるペプシノゲン検査を組み合わせ、胃がんリスクをグループ分類(ABC分類)する検査。 ※問診の結果、検査を実施できない場合もございます。	消化器(大腸・胃)を中心に肺・膵臓・乳・子宮など比較的多くの部位の異常に反応を示す検査。	消化器でも特に膵臓・胆嚢・胆管の異常で高値になることがあり、大腸・肺の異常にも反応を示す検査。

LINE 予約はじめました!

健診センターでは2026年1月14日よりLINEからのご予約受付を開始しました。人間ドック、健康診断などを時間や曜日を気にせず、ご予約いただけますので便利です。この機会に健診センター公式LINEを友だち追加してご活用ください。

二次元コードをスキャンするとLINEの友だちに追加されます。二次元コードをスキャンするにはLINEアプリのQRリーダーをご利用ください。

お問い合わせ

さやま総合クリニック 健診センター

電話 04-2900-2223

受付時間
平日 8:30~18:00
土曜日 8:30~12:30
(日・祝日:休み)

病院がつくった健康情報サイト みんなの健康塾ちゃんねる

医療情報を「もっと」手軽にGET! みんなの健康塾ちゃんねる

公式SNS WEB LINE

埼玉石心会病院・さやま総合クリニックの求人情報はこちら

QR code for job information